

令和8年度 施設分析シート

Ⅰ施設の概要		施設コード		S05-03-01		
施設名		荒川総合スポーツセンター				
所在地		南千住六丁目45番5号				
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位: 千円)			
			国・都	区債	一般財源	
	建築	昭和60年	2,930,000			
	増改築①	令和元年	3,406,709	263,233	965,400	2,178,076
	増改築②					
併設施設		南千住野球場				
竣工年月日		昭和60年3月25日		区職員	その他	
供用開始年月日		昭和60年6月2日	職員数		72	
構造		SRC造	階層	地上4階、地下1階		
面積	敷地面積		6,412.09 ㎡			
	延床面積		12,638.35 ㎡			
設置目的・経緯		スポーツ及びレクリエーションの普及・振興を図り、健康で文化的な区民生活の向上に寄与する				
関連部署						
根拠法令等 設置条例		荒川総合スポーツセンター条例				
駐車場の状況		57台	バリアフリー	●エレベーター	●トイレ	
駐輪場の状況		208台	対応状況	●点字ブロック	●スロープ	



Ⅱ 管理運営の状況

管理形態	指定管理	荒川スポーツマネジメント共同事業体	期間	令和7年4月1日 令和12年3月31日	から まで	
事業内容	①管理運営（小体育室、トレーニングルーム、温水プール、ホール、管理事務室、キッズルーム、スタジオ、エアライフル場、大体育室、卓球場、第1武道場、第2武道場、弓道場、洋室会議室、和室会議室、第1,2クラブ室） ②教室・講習会（通年制教室、定期制スポーツ教室、1回制教室、キッズルーム教室、自主事業教室等）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前8時～午後10時30分				
	休日	1月1日～1月3日、毎月第2水曜日、館内整備等による臨時休館				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	団体利用者数（人）	247,303	223,025	258,340	260,665	272,000
	個人利用者数（人）	190,628	215,909	229,207	256,751	267,000
	教室受講者数（人）	121,907	129,738	134,666	132,926	138,000
	大体育室稼働率（％）	93	94	94	96	96
	小体育室稼働率（％）	89	91	91	95	95
	教室開催数（回）	8,354	8,594	8,965	8,742	8,917
	教室申込率（％）	57	60	62	62	62
	開館日数（日）	354	357	358	347	346
に指定 係等 る管理 費	指定管理料（千円）	142,424	201,620	122,560	146,346	152,021
	指定管理者の支出合計（千円）	347,685	293,226	305,078	328,256	331,037
	指定管理者の人件費（千円）	145,432	142,480	148,336	160,252	159,613
	指定管理者の利用料金収入（千円）	181,457	189,037	210,696	217,880	199,901
備考	・利用者数については、令和4年度から令和7年度にかけて増加しており、特に個人利用者数は令和7年度スポーツハウス休館等の影響により増加した。 ・教室受講者数及び教室開催数は、令和7年度より毎月第2水曜日を休館日としたことで、微減した。					

Ⅲ 財務諸表

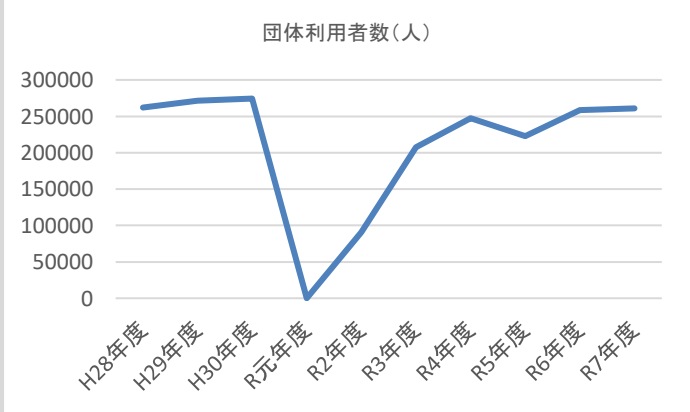
(単位:千円)

行政コスト計算書	勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0
	物件費	121,135	161,412	40,277	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	514	514	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	1,597	1,479	▲ 118	使用料及び手数料	4,512	4,942	430
	減価償却費	163,318	163,318	0	その他	99,515	0	▲ 99,515
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	104,027	4,942	▲ 99,085
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 182,023	▲ 321,781	▲ 139,758
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	▲ 647	▲ 639	8
	行政費用合計(b)	286,050	326,723	40,673	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 182,670	▲ 322,420	▲ 139,750
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 182,670	▲ 322,420	▲ 139,750
貸借対照表	勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額
	流動資産				流動負債	186,674	186,676	2
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	186,674	186,676	2
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	3,694,413	3,532,247	▲ 162,166	その他の流動負債	0	0	0
	土地	1,055,377	1,055,377	0	固定負債	980,712	794,037	▲ 186,675
	建物	6,313,992	6,313,992	0	特別区債	980,712	794,037	▲ 186,675
	建物減価償却累計額	▲ 3,719,392	▲ 3,877,597	▲ 158,205	退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	75,961	75,961	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 31,526	▲ 35,486	▲ 3,960	負債の部合計	1,167,386	980,713	▲ 186,673
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	2,531,311	2,555,774	24,463
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	2,531,311	2,555,774	24,463
備考	その他の固定資産	4,284	4,240	▲ 44	負債及び正味財産の部合計	3,698,697	3,536,487	▲ 162,210
	資産の部合計	3,698,697	3,536,487	▲ 162,210	令和7年度に指定管理者の変更があったことに伴い、指定管理料の改定と新たな指定管理者への前受金の支払いにより物件費が増加している。また、令和6年度に変更前の指定管理者からの前受金の受領があったことや、令和5・6年度の指定管理料の返還額が計上されているため、その他行政収入が減少している。			

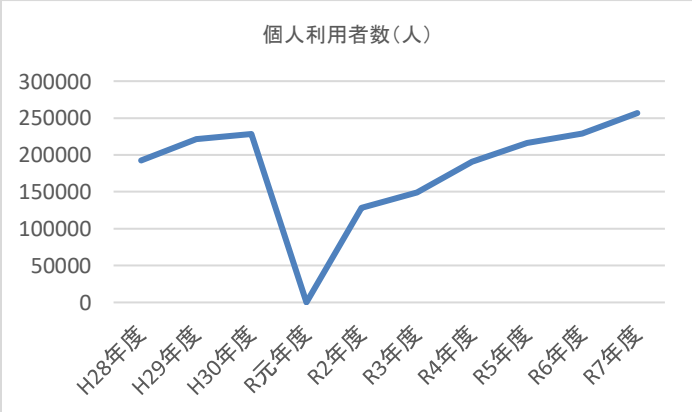
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	54	56.0	59	61.2	
	1㎡当たりコスト（円）	26,582	31,482	23,692	27,060	
	人にかかるコストの割合（指定管理）（％）	42	49	48.6	48.8	
	利用者1人当たりコスト（円）	573	668	460	502	
	区民1人当たりコスト（円）	1,490	1,765	1,328	1,517	
	受益者負担比率（％）	35	40	46	42.8	
	開館1日当たりコスト（円）	906,624	1,064,728	799,022	941,565	
備考	令和7年度から月1回の休館日を設けたことにより、開館1日当たりコストが令和6年度と比較し、増加した。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用者数	目標値 実績値	- 559,838	- 568,672	- 622,213	- 650,342	677,000
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合 ○ 廃止				
管理形態の変更の推移	● 有 (変更内容: 平成19年度から指定管理者制度を導入) ○ 無						
利用者・地域のニーズ	○区のスーports振興の中心施設として、多くの区民にスポーツを楽しむ場を提供している。						
現状・課題	○令和元年度の大規模改修で整備されたバリアフリー機能を活かし、高齢者・障がい者向けの教室を実施するなど、幅広い世代の区民がスポーツを楽しむことのできる事業を実施していく必要がある。 ○利用者のニーズを踏まえたイベント事業等の実施により、施設のさらなる利用者増加を図ることで、区民の健康増進に貢献していく必要がある。 ○利用者増加に伴い、他利用者のマナーに関する意見が増加傾向にある。新規利用者を中心とした丁寧な利用ルールの説明や、館内への多言語対応POPの掲示等に取り組んでいるが、より多くの方に気持ちよく施設を利用いただけるよう、さらなる周知徹底を図る必要がある。 ○令和9年度のスーportsハウスリニューアルを踏まえ、同施設との適切な役割分担を図るとともに、今後の運営内容について検討していく必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○利用者アンケートの意見・要望をもとに指定管理者と協議し、多様なニーズに対応した施設運営や集客向上に繋がる魅力的なイベント等事業を実施する。 ○指定管理者と共に、スーportsハウスとの役割分担やスーportsセンターが果たすべき役割を改めて整理・確認した上で、双方の強みを活かした連携事業の実施も検討し、区全体のスーports振興を図っていく。						
議会、利用者等からの意見	令和6年8月文教・子育て 指定管理者の指定(学校プール活用など) 令和7年8月文教・子育て スーportsセンターの収支差額について 令和7年決特 令和8年1月文教・子育て 子どものプール教室について 令和7年11月文教・子育て 学校建て替え期間の水泳授業代替について						



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和7年度の利用者数はコロナ禍以前の水準に回復傾向にある。



令和元年度は、大規模改修工事による休館のため計上なし。令和7年度の利用者数はコロナ禍以前の水準より増加している。

I 施設の概要			施設コード		S05-03-02		
施設名			荒川遊園スポーツハウス				
所在地			西尾久八丁目3番1号				
部課名			地域文化スポーツ部スポーツ振興課				
施設の履歴		時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)			
				国・都	区債	一般財源	
		建築	平成5年	3,070,000			
		増改築①					
		増改築②					
併設施設							
竣工年月日		平成5年6月24日		区職員	その他		
供用開始年月日		平成5年7月26日	職員数		18		
構造		RC造 (一部S造)	階層	地上3階、地下1階			
面積		敷地面積	4,174 m ²				
		延床面積	4,493 m ²				
設置目的・経緯		区民の健康の増進と体力の維持向上を図るとともに、スポーツ及びレクリエーションの普及・振興に寄与する。					
関連部署							
根拠法令等 設置条例		荒川遊園スポーツハウス条例					
駐車場の状況		無	バリアフリー	● エレベーター	● トイレ		
駐輪場の状況		45台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ		



管理形態	委託	株式会社日新ウエルネス	期間	令和8年4月1日	から	
				令和9年3月31日	まで	
事業内容	①出張スポーツ教室運営業務（定期制教室、1回制教室） ②屋外体育施設の受付等業務 ③仮設管理事務所の管理業務					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	午前9時～午後9時30分（休館前）				
	休日	改修工事に伴う休館（令和7年3月から令和9年3月（予定）まで）				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	団体利用者数（人）	18,184	15,484	22,500	－	－
	個人利用者数（人）	66,845	72,647	70,812	－	－
	教室受講者数（人）	50,713	52,295	54,372	3,479	6,000
	アリーナ稼働率（％）	48	52	60	－	－
	会議室稼働率（％）	12	12	16	－	－
	教室開催数（回）	2,532	2,563	2,554	332	446
	教室申込率（％）	46	48	49	62	63
	開館日数（日）	355	351	350	－	－
	委託料（千円）	92,848	90,805	91,046	24,468	25,657
に指定 用等 管理 費理						
備考	令和6年度の個人利用者においては、コロナ禍前の8割程度で推移。令和7年度及び8年度は大規模改修工事に伴い、近隣の公共施設を利用した出張スポーツ教室を開催している。令和8年度の開催にあたっては、令和7年度の実施状況を踏まえ、教室内容等の見直しを図り、健康増進と体力の維持向上のための運動機会の確保に努めている。					

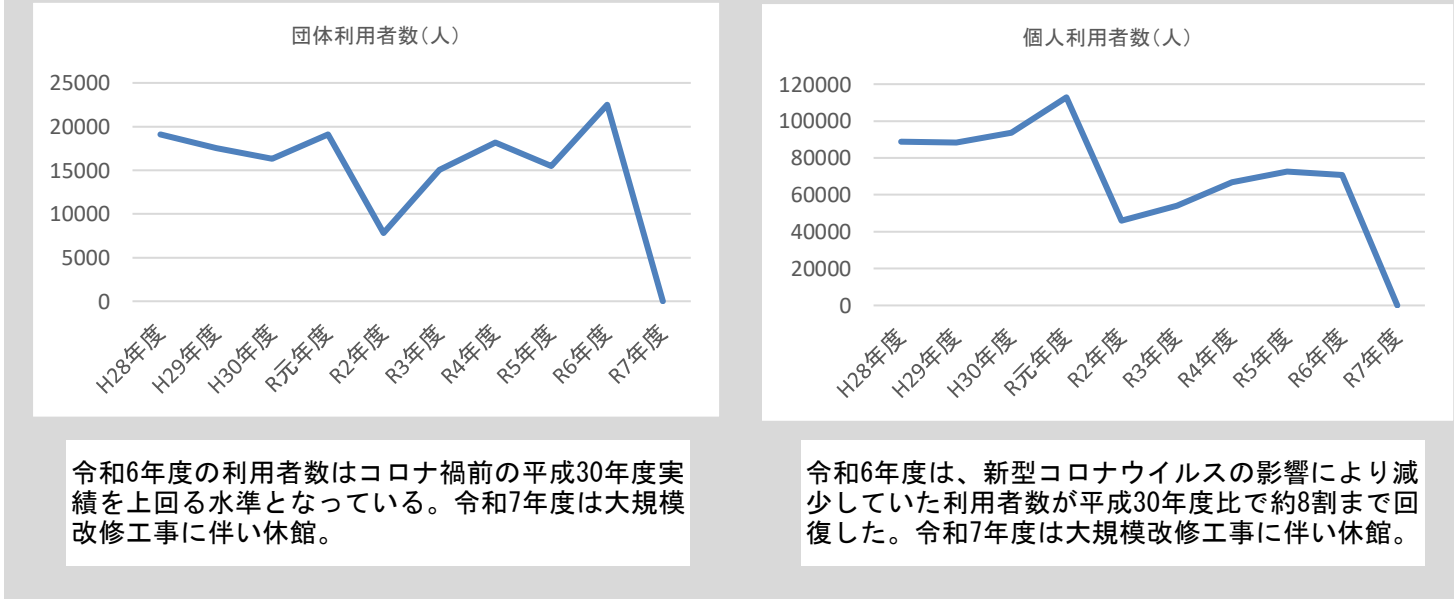
(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	147,915	48,571	▲ 99,344		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	0	5,346	5,346		都支出金	0	35,948	35,948	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	0	21	21		使用料及び手数料	35,721	0	▲ 35,721	
		減価償却費	85,656	85,656	0		その他	287	3,185	2,898	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	36,008	39,133	3,125	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 197,563	▲ 100,461	97,102	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)		233,571	139,594	▲ 93,977	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 197,563	▲ 100,461	97,102		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 197,563	▲ 100,461	97,102		
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0			特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	522,336	436,680	▲ 85,656	賞与引当金			0	0	0
		土地	0	0	0		その他の流動負債		0	0	0
		建物	3,111,239	3,111,239	0			固定負債	0	0	0
		建物減価償却累計額	▲ 2,588,903	▲ 2,674,559	▲ 85,656	特別区債			0	0	0
		工作物等	37,588	37,588	0		退職給与引当金		0	0	0
		工作物等減価償却累計額	▲ 37,588	▲ 37,588	0			その他の固定負債	0	0	0
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計			0	0	0
		建設仮勘定	91,395	1,694,995	1,603,600		正味財産		613,731	2,131,675	1,517,944
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計			613,731	2,131,675	1,517,944	
	資産の部合計		613,731	2,131,675		1,517,944		負債及び正味財産の部合計		613,731	2,131,675
	備考	行政費用の物件費の主な経費は、委託料及び光熱水費である。物件費の減は、工事休館に伴う管理運営費の減少によるものである。行政収入における都支出金は、改修工事に伴う補助金の皆増、使用料及び手数料は工事休館に伴う施設使用料の皆減である。									

	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	78.0	81	83	86.1	
	1㎡当たりコスト（円）	54,442	53,473	51,984	31,068	
	受益者負担比率（％）	15.0	16	15	－	
	開館1日当たりコスト（円）	689,051	684,501	667,346	－	
	利用者1人当たりコスト（円）	1,802	1,711	1,582	－	
	区民1人当たりコスト（円）	1,136	1,116	1,085	648	
備考	令和7年度は、工事休館に伴う物件費の減により、行政費用が減ったため、1㎡当たりコストや区民1人当たりコストが減少している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 （計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	利用者数	目標値 実績値	－ 135,742	－ 140,426	－ 147,684	－ －
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 現状維持 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● その他（指定管理者制度の導入検討）					
管理形態の変更の推移	○ 有 （変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ	○尾久地区居住者の利用が多く、地域密着型の施設として利用されている。					
現状・課題	○令和4年度より施設や設備の改修に係る設計に着手し、令和7年度より大規模改修工事を実施。 ○老朽化部分の対応と、バリアフリー環境を目指し、障がい者や高齢者を含めた多くの区民が利用しやすい施設とする必要がある。 ○効率的・効果的な管理・運営方法等の検討が必要である。					
課題に対する現時点での考え	○利用者からの意見・要望を踏まえて、関係機関と打合せを行いながら、障がい者や高齢者向けのスポーツ教室や親子で楽しめるイベントなど、特色のある施設運営や改修による改善を行う。 ○リニューアル後の指定管理者による運営を見据え、サービス拡充などの検討を進める。					
議会、利用者等からの意見	令和5年度9月会議 休館中の対応について 令和5年度予特 屋内遊び場について 令和6年度決特 物価高騰への対応、休館中のスポーツ教室の実施について 令和7年11月文教・子育て 利用料金について					



I 施設の概要		施設コード	S05-03-05	
施設名	区民運動場			
所在地	西尾久三丁目14番3号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債 一般財源
	建築	昭和54年3月		
	増改築①	平成27年4月	370,000	
	増改築②	令和8年4月	51,700	
併設施設				
竣工年月日	昭和54年3月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和54年3月	職員数	0	1
構造		階層		
面積	敷地面積	7,339 m ²		
	延床面積	569 m ²		
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署	教育委員会事務局 教育施設課			
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	20台	対応状況	○ 点字ブロック	● スロープ



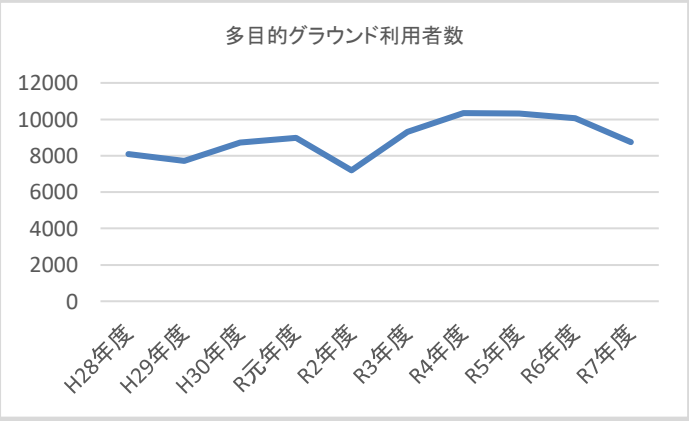
管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から	
				下記のとおり	まで	
事業内容	①管理業務（管理事務所・多目的グラウンド・小広場・駐輪場） ：シルバー人材センター（R8. 4. 1～R9. 3. 31） ②補修業務（多目的グラウンド・小広場・駐輪場）：株式会社アークス（R8. 4. 1～R9. 3. 31） ③清掃業務（管理事務所）：新菱ビルサービス（R6. 4. 1～R9. 3. 31）					
対象者	一般区民他					
運営時間等	運営時間	平日の19:00～21:00、土日祝の9:00～21:00				
	休日	年末年始12/29～1/3、土日祝の学校行事及び授業公開日等				
施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	多目的グラウンド利用者数	10,340	10,318	10,054	8,734	15,000
	小広場利用者数	1,566	1,524	1,574	1,218	1,600
	多目的グラウンド（件数）	470	469	457	397	640
	小広場（件数）	783	762	787	609	780
	稼働率（多目的）	100	99	100	100	100
	稼働率（小広場）	88	83	85	82	90
	開場日数	116	106	115	98	359
	委託料（円）	6,822,339	6,950,085	7,282,986	7,048,553	9,167,225
に指定等管理費理						
備考	利用件数については、令和7年度は照明設置工事を行ったため減少したが、令和8年度より多目的グラウンドの平日夜間の利用を開始したため、増加する見込みである。					

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	R6年度					R7年度			
	差額					差額			
	給与関係費	0	0	0		地方税等	0	0	0
	物件費	7,753	7,798	45		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	113	432	319		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	717	652	▲ 65
	減価償却費	30,940	30,940	0		その他	0	16,000	16,000
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	717	16,652	15,935
賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 38,089	▲ 33,436	4,653		
その他行政費用	0	10,918	10,918	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)	38,806	50,088	11,282	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 38,089	▲ 33,436	4,653		
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 38,089	▲ 33,436	4,653		
貸借対照表	勘定科目				流動負債	勘定科目			
	R6年度					R7年度			
	差額					差額			
	収入未済	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		賞与引当金	0	0	0
	有形固定資産	979,666	989,739	10,073		その他の流動負債	0	0	0
	土地	709,032	709,032	0		固定負債	0	0	0
	建物	217,754	217,754	0		特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	▲ 70,552	▲ 76,432	▲ 5,880		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等	374,039	415,052	41,013		その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 250,606	▲ 275,667	▲ 25,061		負債の部合計	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0		正味財産	979,666	989,739	10,073
	建設仮勘定	0	0	0		正味財産の部合計	979,666	989,739	10,073
その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	979,666	989,739	10,073		
資産の部合計	979,666	989,739	10,073						
令和7年度に区民運動場照明設備設置工事を行っているため、その他行政費用がかかっている。その他行政収入の増は、スポーツ振興くじ助成金による増である。行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち、委託料(日常補修業務、清掃業務、管理業務)が大部分を占めている。									

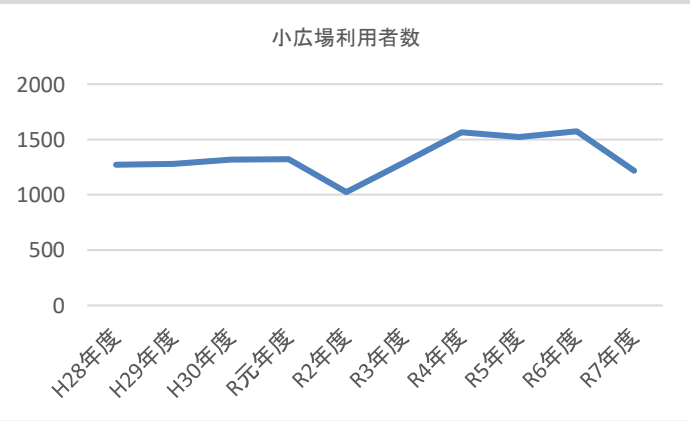
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	44	49.0	54	55.6	
	1㎡当たりコスト（円）	5,444	5,230	5,288	6,825	
	受益者負担比率（％）	2	2	2	1.3	
	開館1日当たりコスト（円）	344,405	362,085	337,443	511,102	
	利用者1件当たりコスト（円）	3,356	3,241	3,337	5,033	
	区民1人当たりコスト（円）	186	179	181	233	
備考	各コストとも、令和6年度まで大きな変動なく推移しているが、令和7年度は照明設備設置工事に伴う休場の影響により、コストが高くなっている。1日あたりコストがほかの運動場と比較して高いのは、平日中学校として利用しており、土日祝日のみの稼働であるためである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用件数	目標値	—	—	—	—	1,420
		実績値	1,253	1,231	1,244	1,006	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	区営スポーツ施設で唯一の人工芝グラウンドであり、雨天等においても利用可能であるなど利用しやすいことから稼働率が高い。						
現状・課題	○駐輪場の駐輪可能台数が限られているため、利用者の多い大会開催時などは、対応が必要である。 ○人工芝や防球ネット等の設備について、適切な維持管理や修繕を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○大会等の開催時には、学校のスペースを活用し、駐輪場スペースを確保する。 ○施設・設備について、日常的に維持管理を行っていくとともに、状態を確認し、計画的に修繕を実施していく。						
議会、利用者等からの意見							



令和4年度以降は、横ばいの利用者数になっている。



令和3年度から利用者数が回復し、令和6年度まで高い水準の利用者数となっている。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-04	
施設名	東尾久運動場			
所在地	東尾久七丁目1番1号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	平成3年5月			
増改築①	平成30年9月	84,967		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成3年5月		区職員	その他
供用開始年月日	平成3年5月	職員数	0	2
構造		階層		
面積	敷地面積	29,195 m ²		
	延床面積	114 m ²		
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	60台	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	約90台	対応状況	● 点字ブロック	● スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理：テニ5面（人工芝）、小広場、スリーオンズ、多目的広場：シルバー人材センター（R8.4.1～R9.3.31） ②補修：テニ5面（人工芝）、小広場、スリーオンズ、多目的広場：有限会社新菱ビルサービス（R8.4.1～R9.3.31） ③駐車場管理運營業務：株式会社 アクト（R6.4.1～R11.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4～9月9:00～18:00、10～3月9:00～17:00（4～10月土日祝7:00～、11～12月土日祝8:00～）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	庭球場、多目的広場等利用者数	34,868	50,641	50,306	51,234	53,795
	庭球場、多目的広場等（件数）	8,717	11,536	10,662	11,762	12,350
	稼働率（庭球場）	60	57	60	60	63
	稼働率（多目的）	75	71	75	71	74
	開場日数	358	360	362	359	359
	委託料（円）	23,653,536	24,888,584	24,420,814	26,402,349	31,394,789
指定管理に係る費用等						

備考	令和4年度は庭球場の人工芝の張替工事を実施したことにより、利用件数が減少した。令和7年度は例年並みとなっている。
----	--

(単位：千円)

		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
行政コスト計算書	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0	
		物件費	31,067	38,767	7,700		国庫支出金	0	0	0	
		維持補修費	155	667	512		都支出金	0	0	0	
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0	
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	16,039	15,662	▲ 377	
		減価償却費	9,924	9,924	0		その他	51	60	9	
		不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	16,090	15,722	▲ 368	
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 25,056	▲ 33,636	▲ 8,580	
		その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0	
		行政費用合計(b)	41,146	49,358	8,212		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 25,056	▲ 33,636	▲ 8,580	
		特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
		特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 25,056	▲ 33,636	▲ 8,580		

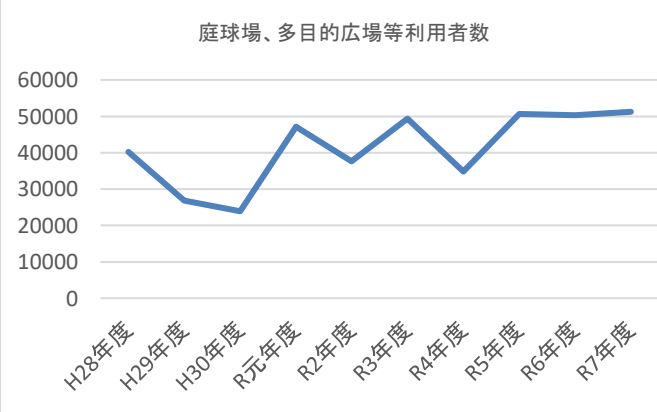
		勘定科目	R6年度	R7年度	差額			勘定科目	R6年度	R7年度	差額
貸借対照表	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0	
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0	
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0	
	固定資産	有形固定資産	70,215	60,710	▲ 9,505	賞与引当金	0	0	0		
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0		
		建物	43,776	43,776	0	固定負債	0	0	0		
		建物減価償却累計額	▲ 29,443	▲ 30,033	▲ 590	特別区債	0	0	0		
		工作物等	139,932	139,932	0	退職給与引当金	0	0	0		
		工作物等減価償却累計額	▲ 84,050	▲ 92,965	▲ 8,915	その他の固定負債	0	0	0		
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0		
		建設仮勘定	9,280	9,280	0	正味財産	80,333	70,409	▲ 9,924		
		その他の固定資産	838	419	▲ 419	正味財産の部合計	80,333	70,409	▲ 9,924		
		資産の部合計	80,333	70,409	▲ 9,924	負債及び正味財産の部合計	80,333	70,409	▲ 9,924		

備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常管理・補修業務、貸出業務、駐車場の運営業務等)が大部分を占めている。また、維持補修費は家屋等修繕費が多くかかっており、令和7年度は6年度より増加した。
----	---

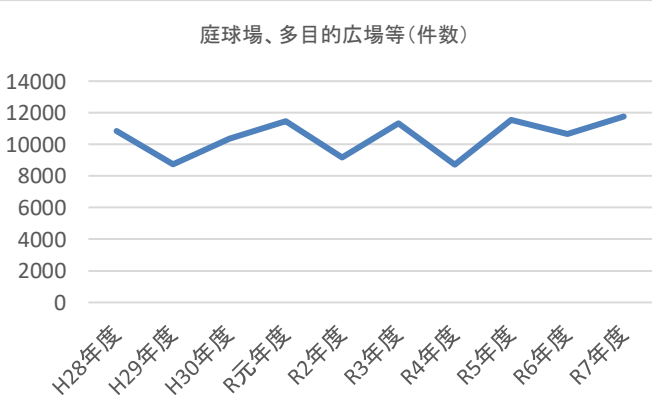
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	51	57	62	67.0	
	1㎡当たりコスト（円）	1,635	1,491	1,452	1,742	
	受益者負担比率（％）	34	39.0	39.0	31.7	
	開館1日当たりコスト（円）	129,363	117,381	113,663	137,487	
	利用者1人当たりコスト（円）	1,328	834	818	963	
	区民1人当たりコスト（円）	216	197	192	230	
備考	各コストとも大きな変動なく推移している。また、行政費用が増加したため開館1日当たりコスト及び利用者1人あたりコストが増加している。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	☒ 無 ☐ 有 （計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	利用件数	目標値 実績値	- 8,717	- 11,536	- 10,662	- 11,762
施設運営の方向性	☐ 転用・多目的化 ☐ 民営化 ☐ 他施設との統合 ☐ 廃止 ☒ 現状維持 ☐ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	☐ 有 （変更内容： ） ☒ 無					
利用者・地域のニーズ	多目的広場、庭球場ともに平日も含め利用率が高い					
現状・課題	○多目的広場については、近年の温暖化傾向を踏まえ、子ども達が安心してスポーツに取り組むことができる環境を整備していく必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○多目的広場の利用環境向上に向けて、全面人工芝化に加えて、照明設置などの対応を行っていく。					
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 多目的広場の人工芝化について フェンスの高さの検討について ○令和5年度6月会議 小広場の日除け設置、多目的広場の人工芝化について					



令和3年度から令和4年度にかけて、利用者数は減少したが、令和5年度において、利用者数が再び増加し、令和6年度以降は横ばいの数値となっている。



令和4年度は庭球場DE面人工芝張替え工事等による休場により減少した。令和6年度は利用件数は減少したものの令和7年度は回復している。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-03	
施設名	南千住野球場			
所在地	南千住六丁目45番6号			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容(単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和57年7月	5,600,000		
増改築①				
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和57年7月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和57年7月	職員数		2
構造		階層		
面積	敷地面積	17,415 m ²		
	延床面積			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	57台	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況	208台	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①体育施設受付及び貸出業務（野球場２面）：荒川スポーツマネジメント共同事業体（R7.4.1～R12.3.31） ②補修管理（野球場２面、外周）：株式会社アイズ（R8.4.1～R9.3.31）				
対象者	一般区民他、区民以外も可				
運営時間等	運営時間	4～10月9:00～20:45（日・祝は7:00～）、11～2月9:00～15:30、3月9:00～17:30			
	休日	年始1/1～1/3			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	野球場利用者数	20,538	22,176	21,888	21,636	22,717
	野球場（件数）	1,141	1,232	1,216	1,202	1,262
	稼働率	39	42	42	45	47
	開場日数	362	363	362	327	362
	委託料（円）	9,092,820	11,692,065	10,254,662	9,150,345	9,308,312
指定管理に係る費用等						

令和7年度は防球ネット張替工事のため開場日数が減少したが、利用件数はほとんど変わらない水準となっている。

(単位：千円)

行政コスト計算書					行政収入				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
	物件費	11,651	10,905	▲ 746		国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	386	20,139	19,753		都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	2,095	2,282	187
	減価償却費	1,388	1,388	0		その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	2,095	2,282	187
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 11,330	▲ 30,150	▲ 18,820
	その他行政費用	0	0	0		金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	13,425	32,432	19,007		通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 11,330	▲ 30,150	▲ 18,820
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)		0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 11,330	▲ 30,150	▲ 18,820

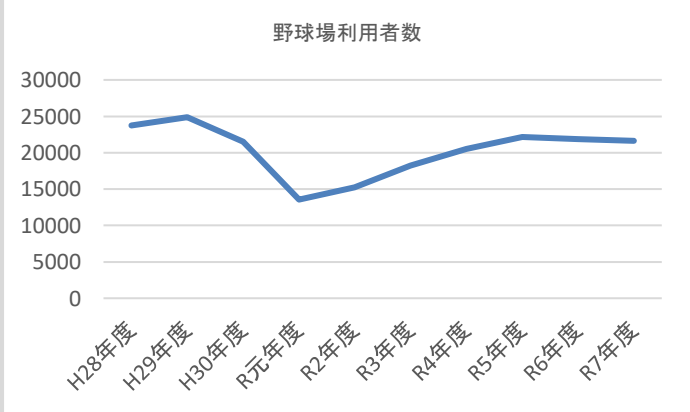
貸借対照表					負債及び正味財産の部合計				
勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0
	不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
固定資産	有形固定資産	3,096,642	3,105,786	9,144		賞与引当金	0	0	0
	土地	3,066,735	3,066,735	0		その他の流動負債	0	0	0
	建物	0	0	0		固定負債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0		特別区債	0	0	0
	工作物等	384,095	394,626	10,531		退職給与引当金	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	▲ 354,187	▲ 355,575	▲ 1,388		その他の固定負債	0	0	0
	無形固定資産	0	0	0	負債の部合計		0	0	0
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産		3,096,642	3,105,786	9,144
	その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計		3,096,642	3,105,786	9,144
資産の部合計		3,096,642	3,105,786	9,144	負債及び正味財産の部合計		3,096,642	3,105,786	9,144

行政費用では、物件費が多くなっており、そのうち委託料(日常補修業務、照明点検等)が大部分を占めている。維持補修費は、A面防球ネット張替工事の影響により増となっている。

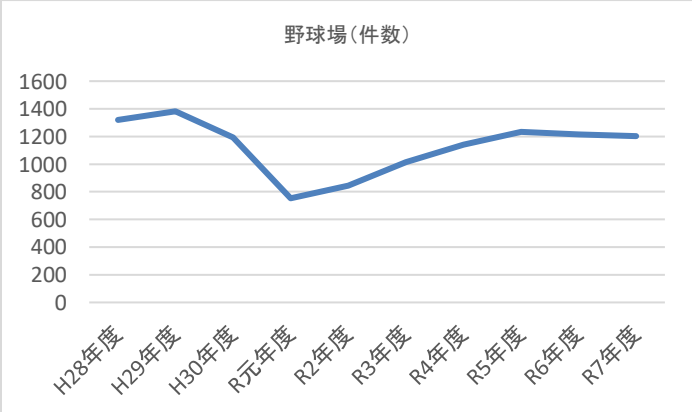
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費（％）	97	97	92	90.1	
	1㎡当たりコスト（円）	746	879	771	1,862	
	受益者負担比率（％）	18	16	16	7.0	
	開館1日当たりコスト（円）	35,887	42,171	37,086	99,180	
	利用者1人当たりコスト（円）	633	690	613	1,499	
	区民1人当たりコスト（円）	61	71	63	151	
備考	令和7年度は防球ネットの張替工事を実施したため、行政費用の増により各コストが高くなっている。また、工事の影響で開場日数が減少したため、開館1日あたりコストが大幅に増加している。他の野球場と比較して1人当たりに要するコストが低いのは、平日昼間の稼働率が他と比較して高いためである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用件数	目標値	-	-	-	-	1,262
		実績値	1,141	1,232	1,216	1,202	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	社会人野球チームや学生の利用により、平日昼間の利用率が高い。						
現状・課題	○野球場は区道、民間住宅に隣接しているため、防球ネット等の継続的なメンテナンスなどの安全対策が必要である。 ○野球場外周の樹木に害虫が発生しやすく、また落ち葉が民間住宅に飛ばされているため、継続的に剪定や消毒などの対策が必要である。 ○照明（メタルハライド）がほとんどのメーカーで生産を中止しているため、LED化を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○施設の安全対策として、剪定や防球ネットのメンテナンスを継続的に実施する。 ○照明のLED化を行う。（令和8年度設計・令和9年度工事）						
議会、利用者等からの意見							



利用者数は令和5年度から若干減少しているが一定の水準を維持している。



利用件数は令和5年度から若干減少しているが一定の水準を維持している。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-08	
施設名	少年運動場			
所在地	足立区小台一丁目22番地先			
部課名	地域文化スポーツ部スポーツ振興課			
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
建築	昭和45年11月			
増改築①	平成28年1月	79,380		
増改築②	令和5年2月	14,905		
併設施設				
竣工年月日	昭和45年11月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和45年11月	職員数	0	2
構造		階層		
面積	敷地面積	47,647 m ²		
	延床面積			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	92台	バリアフリー 対応状況	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	約290台		○ 点字ブロック	○ スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理・補修業務(少年野球場7面、サッカー場1面、多目的広場1面、駐車場) : 有限会社パシフィック (R8.4.1~R9.3.31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場): 信栄美装株式会社 (R8.4.1~R9.3.31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4~9月6:00~18:00、10・3月7:00~17:00、11~2月8:00~16:00			
	休日	年末年始12/29~1/3			

施設基本データ等		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
	野球場、サッカー場等利用者数	97,486	91,902	96,292	88,800	97,680
	野球場、サッカー場等（件数）	5,158	4,861	5,090	4,680	5,148
	稼働率（野球場）	31	30	31	29	31
	稼働率（サッカー場）	29	26	31	27	29
	稼働率（多目的）	39	35	36	35	38
	開場日数	358	360	362	359	359
	委託料（円）	34,294,984	35,219,703	31,075,189	34,330,207	38,774,877
指定管理に係る費用等						

利用件数については、令和7年度は減少したものの、昨年度とほとんど変わらない水準となっている。

(単位：千円)

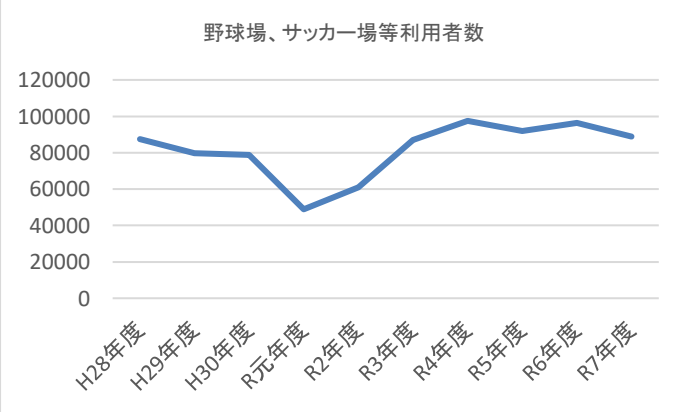
行政コスト計算書	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費		0		0		行政収入	地方税等		0		0	
		物件費		29,844		34,553	4,709		国庫支出金		0		0	
		維持補修費		93		363	270		都支出金		0		0	
		扶助費		0		0	0		分担金及び負担金		0		0	
		補助費等		0		0	0		使用料及び手数料		799		850	51
		減価償却費		1,410		1,410	0		その他		0		0	0
		不納欠損・貸倒引当金繰入額		0		0	0		行政収入合計(a)		799		850	51
		賞与・退職給与引当金繰入額		0		0	0		行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 30,548	▲ 35,476	▲ 4,928		
		その他行政費用		0		0	0		金融収支差額(d)		0		0	0
行政費用合計(b)			31,347		36,326	4,979	通常収支差額(c)+(d)=(e)		▲ 30,548	▲ 35,476	▲ 4,928			
特別費用(g)			0		0	0	特別収入(f)			0		0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)			0		0	0	当期収支差額(e)+(h)		▲ 30,548	▲ 35,476	▲ 4,928			
貸借対照表	勘定科目				R6年度	R7年度	差額	勘定科目				R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済		0		0		流動負債			0		0	
		不納欠損引当金		0		0	0		還付未済金		0		0	0
		その他の流動資産		0		0	0		特別区債		0		0	0
	固定資産	有形固定資産		29,792		28,382	▲ 1,410	賞与引当金		0		0	0	0
		土地		0		0	0	その他の流動負債		0		0	0	
		建物		28,479		28,479	0	固定負債		0		0	0	
		建物減価償却累計額	▲ 5,015	▲ 5,955	▲ 940		特別区債		0		0	0		
		工作物等		74,848		74,848	0	退職給与引当金		0		0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 68,520	▲ 68,990	▲ 470		その他の固定負債		0		0	0		
		無形固定資産		0		0	0	負債の部合計		0		0	0	
		建設仮勘定		0		0	0	正味財産		29,792		28,382	▲ 1,410	
		その他の固定資産		0		0	0	正味財産の部合計		29,792		28,382	▲ 1,410	
	資産の部合計			29,792		28,382	▲ 1,410	負債及び正味財産の部合計		29,792	28,382	▲ 1,410		

備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和6年度と7年度の物件費の差額については、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託の金額が増加したことが影響している。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和7年度は微増となっている。
----	---

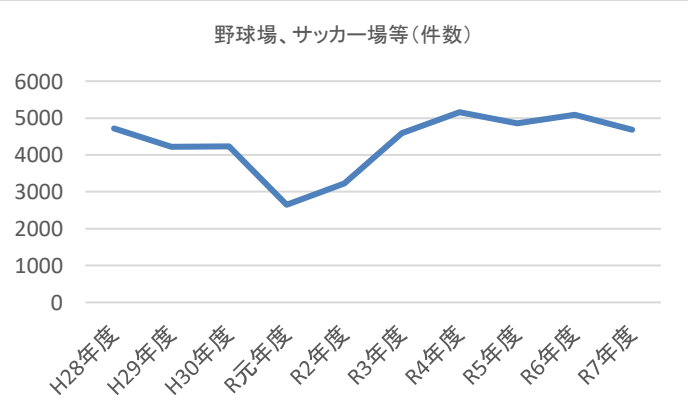
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却率（％）	68	70	71	72.5	
	1㎡当たりコスト（円）	105	747	658	762	
	受益者負担比率（％）	19.0	2	3	2.3	
	開館1日当たりコスト（円）	14,006	98,836	86,594	101,187	
	利用者1人当たりコスト（円）	51	387	326	409	
	区民1人当たりコスト（円）	23	166	146	169	
備考	令和7年度は、行政費用が増加し、利用人数及び利用件数が減少したことにしたことに伴い、全体的にコストは増となっている。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)							
目標指標	指標名・単位			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用件数		目標値	-	-	-	-	5,148
			実績値	5,158	4,861	5,090	4,680	
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持		○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合		○ 廃止		
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無							
利用者・地域のニーズ	少年野球7面、サッカー場、多目的広場を有し、大会開催等の実施会場として需要が高い。							
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。 ○グラウンドに不陸が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。							
課題に対する 現時点での考え	○河川増水時の対応をまとめたマニュアルに基づき、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。							
議会、利用者等 からの意見	○H29年決特 トイレの手洗い場の案内について							



直近についてはコロナ禍以前より高い水準となっている。



直近についてはコロナ禍前より高い水準となっている。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-06	
施設名		荒川遊園運動場		
所在地		西尾久八丁目1番2号		
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課		
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和62年4月			
増改築①	平成5年10月	140,000		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	平成5年4月		区職員	その他
供用開始年月日	平成5年4月	職員数	0	2
構造		階層		
面積	敷地面積	5,430 m ²		
	延床面積			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	無	バリアフリー	○エレベーター	○トイレ
駐輪場の状況	無	対応状況	○点字ブロック	○スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①受付・開閉場（運動場）：株式会社日新ウエルネス（R8.4.1～R9.3.31） ②補修業務（運動場）：上園緑地建設株式会社（R8.4.1～R9.3.31） ③樹木剪定（運動場）：六創園株式会社（R8.6.26～R9.3.31）				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	9:00～20:00（日・祝は7:00～20:00）			
	休日	年末年始12/29～1/3			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	運動場利用者数	21,200	19,060	9,760	20,340	22,300
	運動場（件数）	1,060	953	488	1,017	1,100
	稼働率	64	64	63	65	70
	開場日数	359	360	194	359	359
	委託料（円）	9,216,064	10,467,783	9,120,518	8,762,461	10,735,711
に指定管理 に係る費用等						

--	--

(単位：千円)

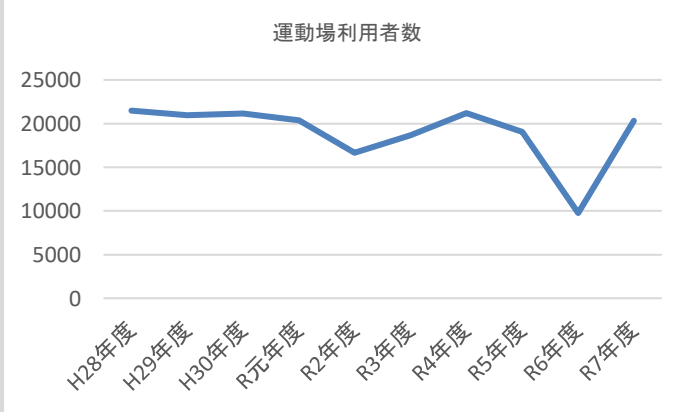
行政コスト計算書					貸借対照表					
行政コスト計算書	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	行政費用	給与関係費	0	0	0	行政収入	地方税等	0	0	0
		物件費	10,278	9,400	▲ 878		国庫支出金	0	0	0
		維持補修費	0	517	517		都支出金	0	0	0
		扶助費	0	0	0		分担金及び負担金	0	0	0
		補助費等	0	0	0		使用料及び手数料	574	1,317	743
		減価償却費	75	3,992	3,917		その他	0	0	0
		不納欠損・賞倒引当金繰入額	0	0	0		行政収入合計(a)	574	1,317	743
		賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 88,945	▲ 12,592	76,353	
		その他行政費用	79,166	0	▲ 79,166	金融収支差額(d)	0	0	0	
行政費用合計(b)		89,519	13,909	▲ 75,610	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 88,945	▲ 12,592	76,353		
特別費用(g)		0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)		0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 88,945	▲ 12,592	76,353		
貸借対照表	勘定科目		R6年度	R7年度	差額	勘定科目		R6年度	R7年度	差額
	流動資産	収入未済	0	0	0	流動負債		0	0	0
		不納欠損引当金	0	0	0		還付未済金	0	0	0
		その他の流動資産	0	0	0		特別区債	0	0	0
	固定資産	有形固定資産	62,434	58,442	▲ 3,992	賞与引当金	0	0	0	
		土地	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0	
		建物	0	0	0	固定負債	0	0	0	
		建物減価償却累計額	0	0	0	特別区債	0	0	0	
		工作物等	202,895	202,895	0	退職給与引当金	0	0	0	
		工作物等減価償却累計額	▲ 140,461	▲ 144,453	▲ 3,992	その他の固定負債	0	0	0	
		無形固定資産	0	0	0	負債の部合計	0	0	0	
		建設仮勘定	0	0	0	正味財産	62,434	58,442	▲ 3,992	
		その他の固定資産	0	0	0	正味財産の部合計	62,434	58,442	▲ 3,992	
	資産の部合計		62,434	58,442	▲ 3,992	負債及び正味財産の部合計	62,434	58,442	▲ 3,992	

[illegible]

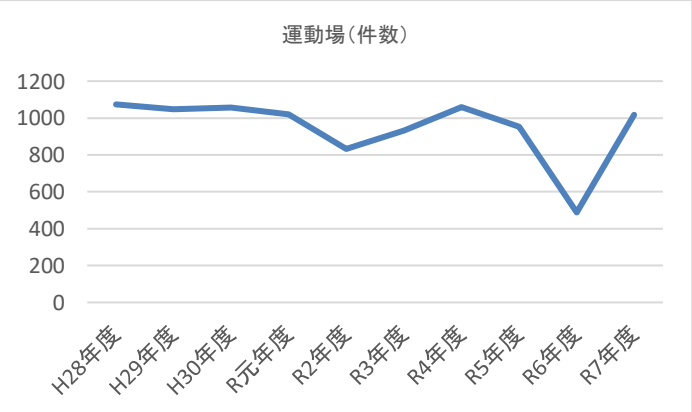
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費（％）	97	98	69	71.2	
	1㎡当たりコスト（円）	1,845	1,950	16,486	2,562	
	受益者負担比率（％）	14	13	1	9.5	
	開館1日当たりコスト（円）	27,903	29,419	461,438	38,744	
	利用者1人当たりコスト（円）	473	556	9,172	684	
	区民1人当たりコスト（円）	47	49	417	65	
備考	令和6年度は防球フェンスの改修工事を実施したため、一時的に行政費用の増により各コストが高くなるとともに、有形固定資産減価償却費の割合が低くなった。令和7年度においては有形固定資産減価償却費の割合は上昇している。施設規模が大きくないため、他の施設と比較して低コストで運営ができている。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有 (計画名:)						
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
	利用件数	目標値 実績値	— 1,060	— 953	— 488	— 1,017	1,100
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ● 現状維持	○ 民営化 ○ その他()	○ 他施設との統合	○ 廃止			
管理形態の変更の推移	○ 有 (変更内容:) ● 無						
利用者・地域のニーズ	野球、サッカー以外にも、グラウンドゴルフ、地域のイベントなど様々な活用がなされている。						
現状・課題	○強風時に砂ぼこりが発生することがある。 ○グラウンドに不陸が生じており、水はけが悪く、水溜りができてしまう。 ○照明（メタルハライド）がほとんどのメーカーで生産を中止しているため、LED化を行う必要がある。						
課題に対する現時点での考え	○強風が予想される際には、利用者と協力するなどしてこまめに散水を行い、砂ぼこりの発生を防ぐ取組を継続していく。 ○不陸整正をするなど、水はけの改善を図る。 ○照明のLED化を行う。（令和8年度設計・令和9年度工事）						
議会、利用者等からの意見	○平成29年度決特 平日の運動場の開放について						



防球フェンス改修工事実施に伴う休場の影響により、令和5年度から令和6年度にかけて利用者数が減少したが、令和7年度は例年並みに回復した。



防球フェンス改修工事実施に伴う休場の影響により、令和5年度から令和6年度にかけて利用件数が減少したが、令和7年度は例年並みに回復した。

I 施設の概要		施設コード	S05-03-07	
施設名		西新井橋野球場		
所在地		足立区千住元町36番7号先		
部課名		地域文化スポーツ部スポーツ振興課		
施設の履歴	時期	建築費 (単位:千円)	財源内容 (単位:千円)	
			国・都	区債
			一般財源	
建築	昭和34年4月			
増改築①	平成27年5月	101,079		
増改築②				
併設施設				
竣工年月日	昭和34年4月		区職員	その他
供用開始年月日	昭和34年4月	職員数	0	2
構造		階層		
面積	敷地面積	35,057 m ²		
	延床面積			
設置目的・経緯	区民の体位向上と健康の増進を図ることを目的とする。			
関連部署				
根拠法令等 設置条例	荒川区営運動場の設置、管理に関する条例			
駐車場の状況	50台	バリアフリー	○ エレベーター	● トイレ
駐輪場の状況	約150台	対応状況	○ 点字ブロック	○ スロープ



管理形態	委託	下記のとおり	期間	下記のとおり	から
				下記のとおり	まで
事業内容	①管理・補修業務(大人野球場5面、駐車場)：有限会社パシフィック (R8. 4. 1～R9. 3. 31) ②駐車場利用者確認業務(駐車場)：信栄美装株式会社 (R8. 4. 1～R9. 3. 31)				
対象者	一般区民他				
運営時間等	運営時間	4～9月6:00～18:00、10・3月7:00～17:00、11～2月8:00～16:00			
	休日	年末年始12/29～1/3			

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度（見込み）
施設基本データ等	野球場利用者数	18,936	23,904	24,138	25,992	27,291
	野球場（件数）	1,052	1,328	1,341	1,444	1,516
	稼働率	12	15	15	16	17
	開場日数	359	360	362	359	359
	委託料（円）	23,893,902	26,136,282	23,575,179	25,794,283	28,078,360
指定管理に係る費用等						

備考	利用者数及び利用件数は増加し続けている。
----	----------------------

(単位：千円)

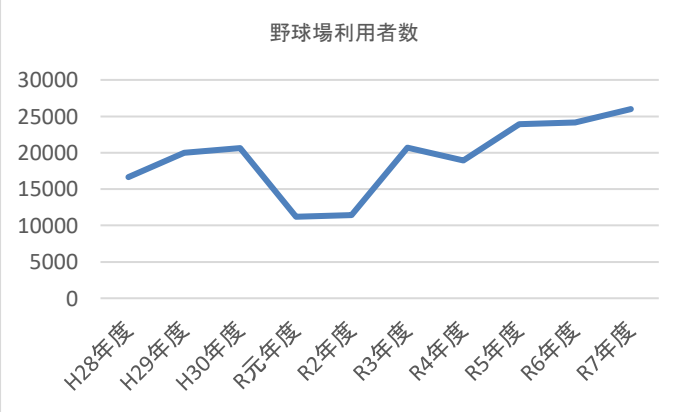
行政コスト計算書				貸借対照表						
行政費用	勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額		
	給与関係費	0	0	0	地方税等	0	0	0		
	物件費	24,858	26,282	1,424	国庫支出金	0	0	0		
	維持補修費	40	0	▲ 40	都支出金	0	0	0		
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0		
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	604	599	▲ 5		
	減価償却費	7,220	7,220	0	その他	0	0	0		
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	604	599	▲ 5		
	賞与・退職給与引当金繰入額	0	0	0	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 31,514	▲ 32,903	▲ 1,389		
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0		
行政費用合計(b)				32,118	33,502	1,384	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 31,514	▲ 32,903	▲ 1,389
特別費用(g)				0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
特別収支差額(f)-(g)=(h)				0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 31,514	▲ 32,903	▲ 1,389
貸借対照表	勘定科目	R6年度	R7年度	差額	勘定科目	R6年度	R7年度	差額		
	流動資産				流動負債	0	0	0		
	収入未済	0	0	0	還付未済金	0	0	0		
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0		
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	0	0	0		
	有形固定資産	50,664	43,444	▲ 7,220	その他の流動負債	0	0	0		
	土地	993	993	0	固定負債	0	0	0		
	建物	14,660	14,660	0	特別区債	0	0	0		
	建物減価償却累計額	▲ 5,118	▲ 5,566	▲ 448	退職給与引当金	0	0	0		
	工作物等	101,223	101,223	0	その他の固定負債	0	0	0		
	工作物等減価償却累計額	▲ 61,095	▲ 67,867	▲ 6,772	負債の部合計	0	0	0		
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	50,664	43,444	▲ 7,220		
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	50,664	43,444	▲ 7,220		
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	50,664	43,444	▲ 7,220		
	資産の部合計				50,664	43,444	▲ 7,220			

備考	行政費用では、物件費が多くかかっており、そのうち委託料(日常補修業務、駐車場管理運営)が大部分を占めている。令和6年度と7年度の物件費の差額については、西新井橋野球場、少年運動場管理保守業務委託の金額が増加したことが影響している。行政収入は、運動場の使用料収入であり、令和7年度は微減となっている。
----	---

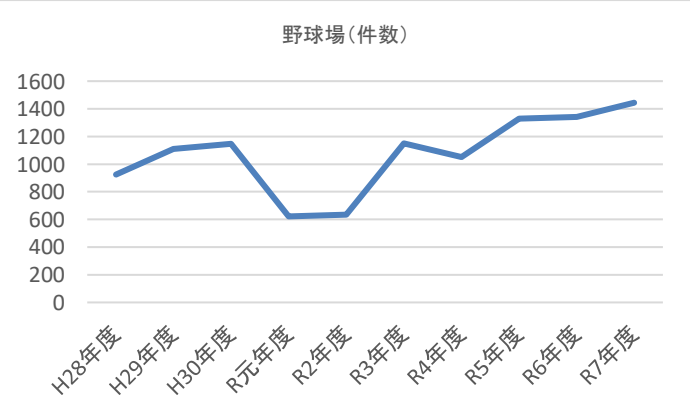
	指標	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度(見込み)
財務指標・評価指標等	有形固定資産減価償却費（％）	45	51	57	63.4	
	1㎡当たりコスト	1,759	996	916	956	
	受益者負担比率（％）	1.0	2	2	1.8	
	開館1日当たりコスト（円）	171,744	97,031	88,724	93,320	
	利用者1人当たりコスト（円）	3,256	1,461	1,331	1,289	
	区民1人当たりコスト（円）	287	163	150	156	
備考	開館1日当たり、利用者1人当たりコストが高いのは、大人専用であることや区内から比較的距離が離れているため、特に平日の利用が少ないことによるものである。					

Ⅳ 施設運営の方向性（所管の考え方）

計画の有無	● 無 ○ 有（計画名： ）					
目標指標	指標名・単位		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	利用件数	目標値	-	-	-	1,350
		実績値	1,052	1,328	1,341	1,444
施設運営の方向性	○ 転用・多目的化 ○ 民営化 ○ 他施設との統合 ○ 廃止 ● 現状維持 ○ その他（ ）					
管理形態の変更の推移	○ 有（変更内容： ） ● 無					
利用者・地域のニーズ	大人の軟式野球会場として5面を有し、大会開催等の実施会場として安定したニーズがある。					
現状・課題	○河川敷に設置されていることから、台風等による河川の氾濫の恐れがある場合、被害を最小限に留めるための対策を講じる必要がある。					
課題に対する現時点での考え	○河川増水時の対応をまとめたマニュアルに基づき、訓練を行うことで、増水時の速やかな対応につなげる。					
議会、利用者等からの意見						



令和4年度以降、利用者数が増加しており、コロナ禍以前の数値を上回っている。



令和4年度以降、利用件数が増加しており、コロナ禍以前の数値を上回っている。